⑤生産数量又は建物の延床面積その他のエネルギーの使用量と密接な関係を持つ値・・・Ⓔ
⑥事業分類ごとのⒸ及びⒺを事業者全体で合計し、それぞれの合計値Ⓤ、Ⓥを求めることにより、事業者全体のエネルギー消費原単位Ⓦ＝Ⓤ／Ⓥが求められる。
⑦Ⓦと前年度の原単位Ⓧの比・・・Ⓨ

（４）Ⓔが事業ごとに異なり、事業者全体の原単位Ⓦが算出困難な場合は、事業分類ごとに、以下の数値を記入していくことにより、事業者全体の原単位の対前年度比Ⓩを求める。
①非化石燃料の補正及び連携省エネルギー措置を踏まえたエネルギーの使用量（原油換算 kl）・・・Ⓐ
②販売した副生エネルギーの量の合計（原油換算 kl）・・・ Ⓑ
③購入した未利用熱の量の合計（原油換算 kl）・・・ Ⓑ’
④Ⓐ－Ⓑ－Ⓑ’・・・Ⓒ
⑤事業分類ごとのⒸの値の、事業者全体の合計値に対する構成割合（%）・・・Ⓓ
⑥生産数量又は建物の延床面積その他のエネルギーの使用量と密接な関係を持つ値・・・Ⓔ
⑦エネルギー消費原単位・・・Ⓒ/Ⓔ＝Ⓕ
⑧前年度のエネルギー消費原単位・・・Ⓖ
⑨事業分類ごとのエネルギー消費原単位の対前年度比（%）・・・Ⓗ
⑩事業ごとのエネルギー消費原単位の対前年度比ⒽをⒹの重みで加重平均し、事業者全体の原単位の対前年度比を求める。 Ⓩ＝①＋②＋③＋・・・

１７　第４表１の「５年度間平均原単位変化」の欄には、エネルギー消費原単位の過去５年度間の対前年度比をそれぞれ乗じた値の４乗根となる値を記入すること。算出方法は、以下のとおり。
・エネルギー消費原単位
５年度間平均原単位変化（%）＝（Ⓙ×Ⓚ×Ⓛ×Ⓜ）$^{1/4}$（%）

様式第二十一を次のように改める。
様式第 21（第 57 条関係）

※受理年月日	
※処理年月日	

殿

年　　月　　日

住　　所
登録調査機関名
代表者氏名

確認調査結果報告書

エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律第８４条第３項、第８５条第３項、第８６条第３項又は第８７条第３項の規定に基づき、次のとおり報告します。